



平成30年2月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成30年1月12日

上場会社名 コーナン商事株式会社 上場取引所 東
 コード番号 7516 URL http://www.hc-kohnan.com/
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 疋田 直太郎
 常務取締役・上席執行役員
 問合せ先責任者 (役職名) システム部・経営企画部・財務部・ (氏名) 宮永 俊一郎 TEL 072 (274) 1621
 経理部・グループ管理部担当
 四半期報告書提出予定日 平成30年1月15日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有
 四半期決算説明会開催の有無：有（機関投資家向け）

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年2月期第3四半期の連結業績（平成29年3月1日～平成29年11月30日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年2月期第3四半期	238,958	—	14,232	—	13,262	—	8,221	—
29年2月期第3四半期	—	—	—	—	—	—	—	—

(注) 包括利益 30年2月期第3四半期 8,303百万円 (—%) 29年2月期第3四半期 —百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年2月期第3四半期	238.42	238.36
29年2月期第3四半期	—	—

(注) 第1四半期連結会計期間末より連結財務諸表を作成しているため、前年同四半期の数値及びこれに係る対前年同四半期増減率については記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
30年2月期第3四半期	307,061	103,638	33.8
29年2月期	—	—	—

(参考) 自己資本 30年2月期第3四半期 103,638百万円 29年2月期 —百万円

(注) 第1四半期連結会計期間末より連結財務諸表を作成しているため、前期の数値については記載しておりません。

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年2月期	—	22.00	—	22.00	44.00
30年2月期	—	25.00	—	—	—
30年2月期（予想）	—	—	—	25.00	50.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

29年2月期中間配当金の内訳 普通配当 21円00銭 記念配当 1円00銭

3. 平成30年2月期の連結業績予想（平成29年3月1日～平成30年2月28日）

(%表示は、対前期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	313,800	—	17,210	—	16,000	—	9,600	—	276.96

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

(注) 連結業績予想につきましては、第1四半期連結会計期間末より連結財務諸表を作成しているため、対前年増減率については記載しておりません。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 一社（社名）、除外 一社（社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	30年2月期3Q	34,682,113株	29年2月期	34,682,113株
② 期末自己株式数	30年2月期3Q	200,341株	29年2月期	201,616株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	30年2月期3Q	34,481,137株	29年2月期3Q	34,680,708株

※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 当社は、第1四半期連結会計期間に株式取得により株式会社ビーバートザンを子会社化したことに伴い、第1四半期連結会計期間から同社を連結の範囲に含めております。
2. 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 2「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

当社は、平成30年1月12日（金）及び1月18日（木）に機関投資家向け説明会を開催する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
3. 補足情報	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期におけるわが国経済は、自動車メーカーの出荷停止に伴う下振れがあったものの、IT関連を中心とする輸出の持ち直しや、インバウンド需要の持続などにより、緩やかな回復基調が続いております。

個人消費は、雇用・所得環境の改善が続く中で、各種政策の効果もあって、緩やかに回復していくことが期待されます。

なお、当社店舗がドミナント展開している関西圏の景気動向についても、緩やかな回復基調が続いております。設備投資は、企業の好業績のもとで依然意欲的な計画を維持しております。また、企業部門の回復が家計部門に波及する動きに弱さがみられるものの、所得・雇用情勢は改善傾向にあり、個人消費は持ち直しに向かっております。

そのような中、当社は、2015年度にツインターボ大作戦として掲げたテーマである、既存店の活性化と在庫の削減への取組みを推し進め、計画最終年度にあたる当期においても、当初の計画どおり堅調に推移しており、財務体質の改善は顕著なものとなっております。

店舗拡充の分野では、ホームセンターコーナン4店舗、コーナンプロ5店舗を出店した他、ホームセンターコーナン1店舗を閉店しました。

また、株式会社ビーバートザンの子会社化に伴い、ホームセンタービーバートザン7店舗、ビーバープロ4店舗を新しく加えたため、当第3四半期連結会計期間末現在の店舗数は338店舗（ホームセンターコーナン267店舗、コーナンプロ60店舗、ホームセンタービーバートザン7店舗、ビーバープロ4店舗）となりました。

これらの結果、当第3四半期連結累計期間の業績は、営業収益238,958百万円、営業利益14,232百万円、経常利益13,262百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益8,221百万円となりました。

上記金額には、消費税等は含まれておりません。

(注)当社は、第1四半期連結会計期間より、四半期連結財務諸表を作成しているため、前年同四半期連結累計期間及び前連結会計年度末との比較分析は行っておりません。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の総資産額は307,061百万円となりました。主な資産は、有形固定資産164,672百万円、商品及び製品66,690百万円であります。

負債総額は203,423百万円であり、内訳は流動負債80,112百万円、固定負債123,310百万円であります。

純資産は103,638百万円であり、内訳は資本金17,658百万円、資本剰余金17,921百万円、利益剰余金68,125百万円等であり、自己資本比率は33.8%となりました。

(注)当社は、第1四半期連結会計期間より、四半期連結財務諸表を作成しているため、前年同四半期連結累計期間及び前連結会計年度末との比較分析は行っておりません。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の連結業績見込みとしては、営業収益313,800百万円、営業利益17,210百万円、経常利益16,000百万円、親会社株主に帰属する当期純利益9,600百万円と見込んでおります。

上記金額には、消費税等は含まれておりません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

当第3四半期連結会計期間 (平成29年11月30日)	
資産の部	
流動資産	
現金及び預金	6,920
売掛金	5,428
商品及び製品	66,690
原材料及び貯蔵品	730
繰延税金資産	1,506
その他	6,646
貸倒引当金	△296
流動資産合計	87,626
固定資産	
有形固定資産	
建物及び構築物(純額)	97,266
土地	39,229
リース資産(純額)	23,439
建設仮勘定	251
その他(純額)	4,485
有形固定資産合計	164,672
無形固定資産	
のれん	927
その他	5,709
無形固定資産合計	6,637
投資その他の資産	
投資有価証券	921
差入保証金	42,682
繰延税金資産	593
その他	3,957
貸倒引当金	△29
投資その他の資産合計	48,125
固定資産合計	219,435
資産合計	307,061

(単位:百万円)

当第3四半期連結会計期間
(平成29年11月30日)

負債の部	
流動負債	
買掛金	27,825
電子記録債務	1,860
短期借入金	5,150
1年内返済予定の長期借入金	27,863
リース債務	1,619
未払法人税等	2,830
賞与引当金	2,175
その他	10,788
流動負債合計	80,112
固定負債	
長期借入金	70,761
リース債務	25,897
受入保証金	12,384
商品自主回収関連損失引当金	1,760
資産除去債務	6,459
その他	6,046
固定負債合計	123,310
負債合計	203,423
純資産の部	
株主資本	
資本金	17,658
資本剰余金	17,921
利益剰余金	68,125
自己株式	△415
株主資本合計	103,290
その他の包括利益累計額	
その他有価証券評価差額金	370
繰延ヘッジ損益	△22
その他の包括利益累計額合計	348
純資産合計	103,638
負債純資産合計	307,061

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	当第3四半期連結累計期間 (自平成29年3月1日 至平成29年11月30日)
売上高	228,555
売上原価	143,973
売上総利益	84,581
営業収入	10,403
販売費及び一般管理費	80,752
営業利益	14,232
営業外収益	
為替差益	213
匿名組合投資利益	131
その他	425
営業外収益合計	769
営業外費用	
支払利息	1,594
その他	144
営業外費用合計	1,738
経常利益	13,262
特別利益	
受入保証金解約益	359
その他	12
特別利益合計	371
特別損失	
減損損失	1,231
その他	14
特別損失合計	1,245
税金等調整前四半期純利益	12,389
法人税、住民税及び事業税	4,586
法人税等調整額	△418
法人税等合計	4,167
四半期純利益	8,221
親会社株主に帰属する四半期純利益	8,221

(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	当第3四半期連結累計期間 (自 平成29年3月1日 至 平成29年11月30日)
四半期純利益	8,221
その他の包括利益	
その他有価証券評価差額金	83
繰延ヘッジ損益	△1
その他の包括利益合計	82
四半期包括利益	8,303
(内訳)	
親会社株主に係る四半期包括利益	8,303
非支配株主に係る四半期包括利益	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

3. 補足情報

商品部門別売上高明細表

商品部門別	金額(百万円)	前年同期比(%)
ホームインプロブメント (DIY用品)	91,666	—
ハウスキーピング(家庭用品)	90,099	—
ペット・レジャー (ペット・レジャー用品)	42,640	—
その他	4,147	—
合計	228,555	—

(注) 1. 商品部門別の各構成内容は、次のとおりであります。

- (1) ホームインプロブメント (木材、建材、工具、建築金物、塗料・作業用品、園芸用品、園芸植物、資材、エクステリア、水道、住設機器、リフォーム)
- (2) ハウスキーピング (ダイニング用品、インテリア、電材・照明、日用品、収納用品、薬品、履物・衣料、家庭雑貨品、家電、介護用品、フード、酒類)
- (3) ペット・レジャー (カー用品、ペット用品、文具・事務用品、サイクル・レジャー用品)
- (4) その他 (バラエティグッズ、書籍、自動販売機、灯油)

2. 上記金額には、消費税等は含まれておりません。

3. 当社は、第1四半期連結会計期間より、四半期連結財務諸表を作成しているため、前年同四半期連結累計期間比較分析は行っておりません。